

# AMDAが津波想定訓練

## 医療チーム派遣 徳島・高知で初実施

将来の発生が懸念される南海トラフ巨大地震に備え、国際医療N

GO「AMDA」(岡山市北区)は9日、津波被害が想定される高

知、徳島両県沿岸部への医療チーム派遣訓練を初めて実施した。AMDAと災害時応援協定を結ぶ岡山県総社市など、移動ルート上に

ある自治体が協力。実際の派遣にあたっての課題を探った。

AMDAは過去に東日本大震災などで被災地支援にあたったが、人や物資の移動、通信などが円滑にできないケースもあったという。現在、巨大地震に

備え四国の各自治体などと支援体制の構築を進めており、その一環で訓練を企画した。

この日は、マグニチュード(M)8.6の地震が起き、両県などに大津波警報が発令されたと想定。総社市に

置いた災害対策本部などから医師らで構成する8チームが車で出発し、活動拠点医療機関がある高知県黒潮町や美波町を目指した。

AMDAグループの菅波茂代表ら4人のチームは途中、海上タクシーで瀬戸内海を渡り、中間支援拠点が置かれる香川県丸亀市で

梶正治市長の元を訪問。支援時の移動手段や宿泊、水の確保など

で意見を交わした。菅波代表は「総社市は全体を指揮し、丸亀市は国内外の支援者が集まる受け皿になる。民間も含め連携したい」と話していた。

【久木田照子】  
今後は、ヘリコプターが発着する空港が状況などで使用不能になったり、港の桟橋破損したりした場合の対応なども検討する。



災害時に中間支援拠点となる香川県丸亀市で梶正治市長(右)の元を訪ね、意見を交わすAMDAグループの菅波茂代表(中央)ら丸亀市役所で

**切手**  
**買います**  
チケット 徳島  
655-5551  
徳島市寺島本町西1丁目